

原 著

入院患者初回面談実施に伴う薬剤管理指導件数の増加とその評価

新潟医療センター、薬剤部；薬剤師¹⁾、佐渡総合病院、薬剤部；薬剤師²⁾、
厚生連本部、総務部；薬剤師³⁾

穂 莉^{はかり} 慎^{しん}¹⁾、霍 間^{つるま} 尚 樹^{なおき}²⁾、山 本^{やまもと} 剛^{つよし}³⁾

目的：当院では平成29年度までは調剤業務を優先していたが、より多くの入院患者と関わることを目的に平成30年度に薬剤管理指導業務の運用を変更した。

方法：薬剤師の判断で入院患者初回面談が実施できる運用に変更し、薬剤管理指導業務の時間をスケジュール化した。また、運用変更後に当院薬剤師と看護師を対象にアンケートを行った。

結果：薬剤管理指導件数は前年度と比べて増加した。薬剤師は指導業務に集中できるようになったという意見が多く、看護師は約30%が初回面談開始後看護師にとって良くなったと感じていることがわかった。

結論：入院患者初回面談を開始したことでより多くの患者に指導を行うことが可能となった。また、アンケートからも初回面談による成果も出てきていると思われる。今後も同じ運用を続けていくために薬剤部業務全体の効率化が求められる。

キーワード：入院患者初回面談、薬剤管理指導

緒 言

薬剤管理指導業務は入院患者の薬歴管理や服薬指導を介して患者の薬物療法を支援するために行われ、病院薬剤師の業務の中でも重要な業務である。

当院では平成29年度までは調剤業務を優先して業務を行っており、薬剤管理指導件数は月に100件前後であったが、より多くの入院患者と関わる事ができるように平成30年度に薬剤管理指導業務の運用を変更した。また、運用変更後にアンケートを行いその評価を行った。

方 法

1. 入院患者に対して薬剤師の判断で初回面談が実施できる体制にした

従来は医師から指導依頼が来た患者しか指導ができない運用であったが、管理者会議や医局会議において医師や病棟長に初回面談の目的や方法を説明し、初回面談実施の同意を得た。

2. 初回面談の方法を薬剤部内で統一した

薬剤師によって指導時間や指導内容に違いが出ないように、図1のような初回面談のルールと指導内容を定めた。

3. 指導業務の時間を明確にスケジュール化した

従来は指導業務を午後の任意の時間に行っていたが、調剤業務の忙しさによって十分に指導業務が行なうことができない場合もあり、薬剤師によって指導業務の時間に差が出ていた。そこで各病棟薬剤師の指導業務スケジュールを表1のように決め、それ以外の時間は調剤業務を行う運用に変更した。

4. アンケート調査

運用を変更し初回面談を開始した後、当院薬剤師と病棟看護師にアンケート調査を行った。

結 果

運用を変更したことで薬剤師の判断で入院患者に指導を行うことが可能となり、多くの患者に指導ができるようになった。また、指導業務の時間も薬剤師で差が出ないように確保することができた。初回面談は平成30年度7月から本格的に開始し、指導件数と指導実施率は前年度と比べて増加した（図2、図3）。

薬剤師対象のアンケートでは回答数15名であり、内容と結果を図4に示す。看護師対象のアンケートでは回答数77名であり、内容と結果を図5に示す。

考 察

運用を変更したことで薬剤師が多くの入院患者と関わる事が可能となった。それにより病棟において薬剤師としての職能を発揮する機会が増え、患者の適切で安全な薬物療法につながると考えられる。

看護師は初回面談を開始したことで看護師にとって少しでも良くなっているという意見が一定数いることから初回面談の成果は出てきていると思われる。今後は初回面談で得た情報を他職種と積極的に共有し、医療チームの一員として薬剤師の役割を発揮していくことが重要である。

一方で薬剤師から調剤業務が忙しくなったという意見が出たことから、今後も同じ運用を続けるためには薬剤部の業務全体を効率化していくことが求められる。

英 文 抄 録

Original article

Assessment of medication instruction with in-patient first interviews

Niigata Medical Center, Department of Pharmacy ; Pharmacist¹⁾, Sado General Hospital, Department of Pharmacy ; Pharmacist²⁾, Niigata Kouseiren Headquarters, General Affairs Department ; Pharmacist³⁾
Shin Hokari¹⁾, Naoki Tsuruma²⁾, Tsuyoshi Yamamoto³⁾

Purpose : Our hospital prioritize dispensing work until FY2017, but changed the operation of medication instruction in FY2018 with the aim of involving more inpatients.

Method : The operation was changed so that the first interview with an inpatient could be conducted at the discretion of the pharmacist, and the time for the medication instruction work was scheduled. In addition, we conducted a questionnaire for our pharmacists and nurses after the change of operation.

Result : The number of medication instruction increased compared to the previous year. There were many opinions that pharmacists were able to concentrate on medication instruction, and about 30% of nurses found utility of the first interview by pharmacist.

Conclusion : By starting the first interview with hospitalized patients, it became possible to give teaching to more patients. In order to continue the same operation in the future, the efficiency of job is required.

Key words : first hospitalized patient interview, medication instruction

表 1. 病棟業務スケジュール

8 : 30～10 : 00	薬剤師 A	薬剤師 B
14 : 00～15 : 30	薬剤師 C	薬剤師 D
15 : 30～17 : 00	薬剤師 E	薬剤師 F

初回面談の主なルール

- ・一部病棟を除く全入院患者が対象
- ・初回面談の対象薬剤は持参薬 + 入院後の処方薬剤
- ・初回面談時間は 5 ～ 10 分程度
- ・原則業務時間外に指導業務は行わないこと
- ・2 回目以降の指導は個々の薬剤師の判断で実施する

指導内容

- | | |
|-------------|--------------|
| ・情報提供者 | ・入院前の薬の管理 |
| ・副作用・アレルギー歴 | ・市販薬・健康食品の有無 |
| ・アルコール | ・タバコの有無 |
| ・体質の問題 | ・服薬コンプライアンス |
| ・服薬機能の問題 | ・持参薬 |

上記10項目は最低限チェックし、指導記録に載せる

それ以上の指導や2回目以降の指導は個々の薬剤師の判断で実施する。

図 1. 初回面談のルールと指導内容

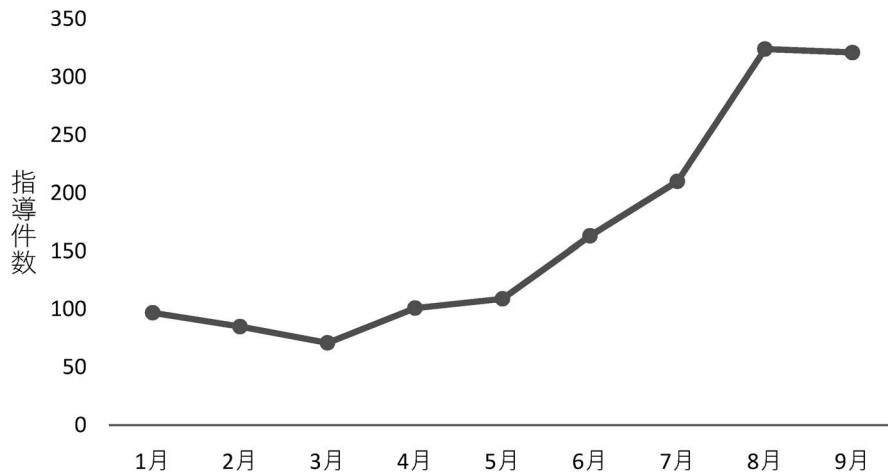


図2. 平成29年度1月～平成30年度9月の指導件数の推移

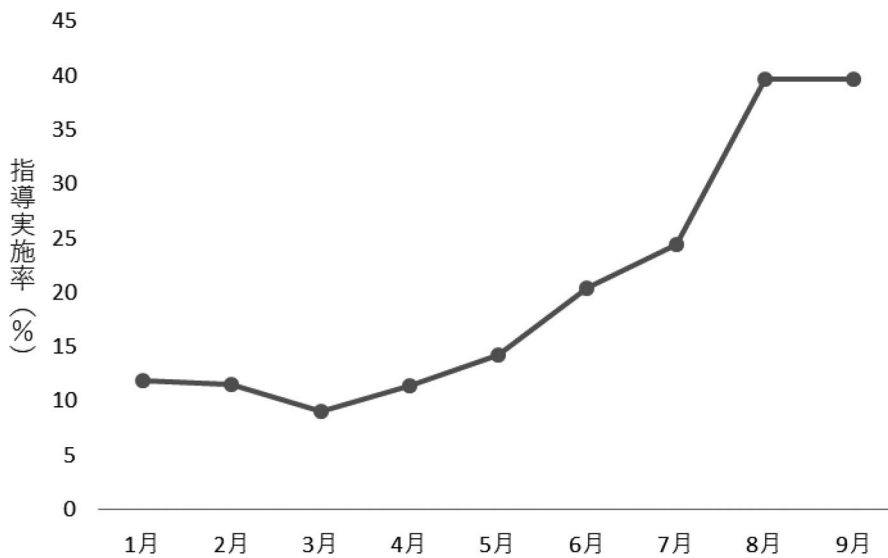


図3. 平成29年度1月～平成30年度9月の指導実施率の推移

- ① 昨年度と今年度の薬剤管理指導業務を比較して良くなったと思う点を挙げてください。
- ・ 入院患者の持参薬や入院中の薬について説明する機会が増えた
 - ・ 他職種とのコミュニケーションが増えた
 - ・ 個々に病棟業務の時間が決まっているため、調剤業務を気にせず指導業務に集中できるようになった
- ② 昨年度と今年度の薬剤管理指導業務を比較して悪くなったと思う点を挙げてください。
- ・ 調剤室が手薄になることがあり、調剤業務が忙しくなることが増えた
- ③ 今後の薬剤管理指導業務の改善点を挙げてください。
- ・ 指導方法や指導記録方法を共有し指導業務の効率を上げていく
 - ・ 調剤室の状況を考慮して病棟業務を行う
 - ・ 病棟業務の時間を増やす

図 4. 薬剤師対象アンケートの内容と主な意見

1. 薬剤部では今年度より初回面談を開始しました。
開始後どのように変わりましたか？
- ① とても良くなった(11.7%)
- ② 少し良くなった (20.8%)
- ③ あまり変わらない(63.6%)
2. 薬剤師が初回面談を実施することで、どのような点が改善されたと思いますか？
(複数回答可)
- ① 薬に関するアドバイスがもらえる(28.6%)
- ② 薬品関連のインシデントやアクシデントが減った(2.5%)
- ③ 患者の薬についての情報がもらえる(41.6%)
- ④ 看護業務への集中度が向上した(2.6%)
- ⑤ その他()
3. 今後薬剤師による初回面談は必要と考えますか？
- ① 必要と感じる(62.3%)
- ② あまり感じない(31.2%)

図 5. 看護師対象アンケート内容と結果